

きぬがさ

東近江市立能登川西小学校

学校だより No.13

平成 30 年(2018 年)11 月 1 日

能登川西小学校の課題と大事にしていきたいこと

学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることをねらいとして、毎年4月に6年生を対象として実施している全国学力学習状況調査では、教科（国語・算数・3年おきに理科）に関する調査に加えて、生活や学習習慣に関する質問紙調査も行っています。

これらについて能登川西小学校の6年生の結果を、全国・滋賀県の結果と比較し分析しました。

平成 30 年度全国学力・学習状況調査の結果

質問紙調査から長所

- ①自分にはよいところがある。先生は認めてくれている。将来の夢や目標を持っている。
- ②規範意識が高い。決まりを守る、いじめはいけない、人の役に立つ人間になりたいと思える。
- ③授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があった。
- ④自分で計画を立て、家で学校の宿題をしている。予習・復習や自学自習は、教科書を使いながら学習している。1時間以上学習している児童が9割いる。
- ⑤国語や算数の勉強は大切で、将来役に立つ。算数の授業の内容はよく分かる。新しい問題に出会ったとき解いてみたいと思う。解き方が分からないときはあきらめず考えようと思う。

質問紙調査から短所

- ①朝食・起床の生活習慣に比べると「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」児童は少ない。
- ②地域の行事に参加しているが、実際にボランティア活動に参加している児童は少ない。地域の大人に勉強やスポーツ（塾や習い事を除く）を教えてもらったり一緒に遊んだりすることは少ない。
- ③「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか」は、あまり考えない。理科が面白いとはあまり思わない。将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいとは思わない。
- ④新聞をほとんどまたは全く読んでいない児童が多い。テレビのニュースやインターネットのニュースをよく見る児童が少ない。

国語・算数・理科調査から長所

- ①話すこと・聞くことに関する知識・理解、特に敬語や慣用句は得意。
- ②簡単な計算問題、面積問題はできる。
- ③適切な理由や答えを選択することはできる。

国語・算数・理科調査から短所

- ①長い問題文を読み取り、自分の考えを条件に合わせて書くことが苦手な児童が多い。
- ②小数であることの意味や単位量あたりの問題が苦手。問題を読んだだけではイメージしにくい。
- ③条件のある図形問題や表・グラフが苦手傾向。分かっているても応用問題で活かせない。
- ④読むことに疲れてしまって、答えを導いたり、導くまでの課程を正しく説明したりできない。



【自分の考えを伝える】



【友だちの考えを知る】



【グループで交流する】



【学級で話しあう】

能登川西小学校の授業改善での学習の様子

学校では... こんなことに力を入れていきます。

- ☆学ぶ楽しさとできた喜びを味わえる指導を心がけ、一人ひとりに確かな力がつくようにします。
- ☆授業では、自分の考えをもち、自分の考えを表現する時間を積極的にとります。
- ☆苦手意識のある書くことに対しては、目的意識を持たせて書く活動や、要約して書く活動を多く取り入れていきます。
- ☆発達段階に応じて新聞やニュースを活用し、生活に密着した「想像する力」を培います。
- ☆教科で学んだことを、特別活動や日常生活などで生かせる場を積極的に設け、学んだことを応用できる力を育てます。
- ☆学年に応じて、各教科で「ほんもの」に触れる体験的な学習を多く取り入れていきます。

- ☆間違いをおそれず何でも言える学級集団、学習規律があり励まし合える学級集団を作っていきます。
- ☆学級や児童会を通して、仲間とともに頑張る喜びや達成感が味わえるように工夫していきます。

- ☆宿題の量や内容について、お家の方と連絡を取り合って「やってよかった」と思える宿題になるように進めていきます。
- ☆地域に出かけての体験や人との交流で「やればできる」と考えて行動できる力がつくようにします。

家庭の生活では... こんなことをお願いします。

東近江市の実態に比べると自己有用感が高く、規範意識も高い結果です。しかし、家庭での生活習慣を整え、学習習慣を充実させるために特に次のことをお願いします。

- ☆年々小学生のスマホ等の保持率が上がっています。ゲームやネットなどを1時間以上する児童の学習成績は低く2時間以上すると学校での学習が積み上がらないという分析結果も出ています。今やネット依存は他人事ではありません。東近江市では、夜9時以降は使用しないというルールがあります。小学生に使用させる場合には、モラルを含めてご一考をお願いします。
- ☆読書や新聞など文字に親しむことを進んで行うとともに、お家の方との会話などから幅広い教養や知識が得られるよう、大人からの望ましい発信をお願いします。
- ☆6年生の結果では、「自分で計画を立て、予習・復習や自学自習では教科書を使いながら学習している（5割）・どちらかといえばしている（4割）」児童が多くいます。今後も宿題だけに終わらず、予習や復習の習慣や自ら計画を立てて学習する習慣を、年度初めに配布しました「家庭学習の手引き」を参考にいただき、声かけや見届けをお願いします。
- ☆地域の行事等への参加は大変すばらしいです。今後は積極的な参画者として、モデルとなる大人

学校は、ご家族の皆様と共に、子どもたちの健やかな成長のために力を尽くして参ります。これからも変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。